

平成17年度 高冷地水稻生育速報(第5報)

中山間農業技術研究所

1. 生育概況(7月5日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	51.3 (97%)	597 (107%)	4.9 (-0.2)	38.4 (-0.4)	9.9 (+0.7)
	前年	56.7	548	4.9	38.9	9.3
	平年	53.0	560	5.1	38.8	9.2
コシヒカリ	本年	57.1 (99%)	515 (86%)	5.0 (-0.2)	39.8 (+0.2)	9.6 (+0.1)
	前年	59.8	624	5.0	39.3	9.3
	平年	58.0	600	5.2	39.6	9.5
たかやまもち	本年	53.3 (95%)	440 (79%)	5.1 (-0.1)	41.8 (+3.2)	9.6 (-0.0)
	前年	58.1	474	4.9	37.9	9.5
	平年	56.3	559	5.2	38.6	9.6
ひだほまれ	本年	62.3 (111%)	515 (116%)	5.0 (+0.1)	39.9 (+1.7)	10.2 (+0.5)
	前年	59.8	455	4.6	38.5	9.5
	平年	56.4	443	4.9	38.2	9.7

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 平年値: 過去5年間の平均値
 ()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 生育状況

先月末より降雨が多く、日照は少なくなっているが、気温はやや高めで推移している。
 草丈の伸長が激しく、いずれも品種もほぼ平年値並となった。特に「ひだほまれ」では平年値を上回っている。茎数は、「たかやまもち」以外で、前回調査時とほぼ横ばいとなっている。
 葉色(葉色板)は、平年値と比べるとやや薄いものの、「コシヒカリ」以外でわずかに濃くなっている。今後、葉色の変化(さめ方)に注意する必要がある。

2) 病害虫等の発生状況

イネツトムシの食害がめだつとともに、ニカメイチュウの被害が散見される。また、セジロウソウ(夏ウソウ)成虫が見られるようになった(50株連続払い落としで平均2頭)。葉いもちの発生は、依然として確認していない。

3) 今後の管理

降雨が多くなっているが、中干しを遅くとも今週中に実施したい。また、追肥として「けい酸加里」を10aあたり30kg施用すると良い。特に倒伏しやすい「コシヒカリ」「ひとめぼれ」には必ず施用したい。
 当所育成の極早生種「飛系76号」では、幼穂長が1~5cm程となっており、予想出穂期は7月20日頃と前年並みである。品種やほ場により生育状況が異なるので、今後、葉色(さめ方)と幼穂長に注意し、生育に応じて穂肥の時期や施用量を調整する必要がある。

<参考> 前回調査時(6月28日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	39.7 (93%)	599 (112%)	4.8 (-0.4)	38.1 (-2.3)	9.2 (+0.8)
	前年	42.5	507	5.3	42.1	8.5
	平年	42.8	535	5.2	40.4	8.4
コシヒカリ	本年	41.9 (92%)	508 (88%)	5.2 (+0.0)	40.2 (+0.2)	8.9 (+0.2)
	前年	49.5	571	5.2	41.2	8.4
	平年	45.6	575	5.2	40.0	8.7
たかやまもち	本年	38.9 (85%)	384 (68%)	5.0 (-0.2)	40.1 (+0.2)	8.8 (+0.0)
	前年	47.1	445	5.2	40.9	8.6
	平年	45.7	565	5.2	39.9	8.8
ひだほまれ	本年	47.1 (103%)	513 (113%)	4.8 (-0.1)	40.5 (+2.1)	9.4 (+0.4)
	前年	47.8	423	4.7	39.7	8.5
	平年	45.8	456	4.9	38.4	9.0

中山間農業技術研究所
TEL 0577-73-2029
FAX 0577-73-2751